



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 美津濃株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8022 URL <https://corp.mizuno.com/jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福本 大介 (TEL) 06-6614-8465
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	122,701	△3.9	4,395	1.0	4,454	7.7	3,210	11.3
2019年3月期第3四半期	127,650	△4.9	4,353	△15.1	4,136	△21.1	2,885	△13.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,918百万円(△1.9%) 2019年3月期第3四半期 2,975百万円(△10.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	126.31	—
2019年3月期第3四半期	113.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	146,681	98,190	66.7
2019年3月期	155,593	96,405	61.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 97,848百万円 2019年3月期 96,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	△1.7	7,500	△1.6	7,500	△2.8	5,200	△13.4	205.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2020年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	26,578,243株	2019年3月期	26,578,243株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,127,019株	2019年3月期	1,197,537株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	25,413,401株	2019年3月期3Q	25,319,667株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、穏やかな回復基調が継続したものの、消費者物価の上昇テンポの鈍化や製造業を中心とした輸出、生産の弱含みの傾向などが見られました。世界経済も全体としては穏やかに回復しましたが、回復は鈍化しています。先行きも米中貿易摩擦の長期化や中国経済の先行き、英国のEU離脱問題など、不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、米州のゴルフ品販売が好調だったものの、主力である国内市場において競技人口の減少や競争激化などによりスポーツ品販売事業が苦戦し、減収となりました。一方、米州の増益と中国における事業構造改善の効果などにより、利益は微増となりました。

これらの結果、当社グループの経営成績は、売上高は49億4千8百万円減収（前年同期比3.9%減）の1,227億1百万円となりました。営業利益は、4千1百万円増益（前年同期比1.0%増）の43億9千5百万円となりました。経常利益は、3億1千7百万円増益（前年同期比7.7%増）の44億5千4百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、3億2千5百万円増益（前年同期比11.3%増）の32億1千万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本は、自治体の指定管理施設の運営や工事、体育器具の販売を行うスポーツ施設サービス事業が、体育館設備の納品や指定管理施設物件の増加により好調に推移しました。また、今年度より専門部署を立ち上げ注力していくワークビジネスも好調を維持しました。他方、野球やゴルフ、サッカーといったスポーツ品販売事業は、少子化による競技人口の減少などにより販売は苦戦しました。

この結果、売上高は44億1千5百万円減収（前年同期比5.1%減）の830億1千4百万円、営業利益は4億9千6百万円減益（前年同期比19.9%減）の19億9千8百万円となりました。

② 欧州

欧州は、主力のゴルフクラブとランニングシューズ、インドアシューズの販売が好調に推移しました。欧州各国通貨の下落により原価率は上昇したものの、増益を確保しました。

この結果、売上高は2億1百万円増収（前年同期比1.8%増）の113億8千5百万円、営業利益は3千3百万円増益（前年同期比13.3%増）の2億8千万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

英ポンド：138.33円（前年同期145.76円）、ユーロ（欧州支店）：121.46円（前年同期129.34円）

ユーロ（子会社）：122.83円（前年同期131.00円）、ノルウェークローネ：12.55円（前年同期13.64円）

③ 米州

米州は、主力のゴルフクラブやランニングシューズ、当連結会計年度より開始したゴルフボールの販売が好調に推移し、増収となりました。加えて、前期に実施した事業構造改革により利益体質を一層強化したことから、営業利益は大幅な増益となりました。

この結果、売上高は12億3千5百万円増収（前年同期比8.8%増）の152億4千4百万円、営業利益は5億3千8百万円増益（前年同期比103.7%増）の10億5千7百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

米ドル：109.39円（前年同期109.92円）、カナダドル：82.17円（前年同期85.46円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアの業績は、台湾やオーストラリアなどが増収でしたが、前期に実施した事業構造改善による中国のリテール販売事業の縮小と、韓国での日本製品の不買運動の影響により減収となりました。損益は、中国の事業構造改善が貢献したものの、減収による売上総利益の減少を補えず減益となりました。

この結果、売上高は19億6千9百万円減収（前年同期比13.1%減）の130億5千6百万円、営業利益は3千1百万円減益（前年同期比3.1%減）の9億6千8百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

台湾ドル：3.53円（前年同期3.67円）、香港ドル：13.96円（前年同期14.03円）

中国元：15.95円（前年同期16.83円）、豪ドル：76.36円（前年同期83.17円）

韓国ウォン（100ウォンあたり）：9.45円（前年同期10.08円）

米ドル（シンガポール）：109.39円（前年同期109.92円）

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ89億1千1百万円減少して1,466億8千1百万円となりました。現金及び預金が12億7千2百万円、商品及び製品が9億4千1百万円、それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が116億3千6百万円減少したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ106億9千7百万円減少して484億9千万円となりました。短期借入金が42億8千9百万円、支払手形及び買掛金が37億7千9百万円、未払金及び未払費用が28億8千3百万円、減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億8千5百万円増加して981億9千万円となりました。利益剰余金が19億1千6百万円、その他有価証券評価差額金が2億4千2百万円、繰延ヘッジ損益が1億6百万円、それぞれ増加したことが主な要因です。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の61.7%から66.7%へと5.0ポイント増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月10日公表の連結業績予想数値を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（2020年2月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,527	16,799
受取手形及び売掛金	42,228	30,591
商品及び製品	30,304	31,245
仕掛品	617	1,074
原材料及び貯蔵品	2,802	2,795
その他	5,527	5,861
貸倒引当金	△604	△511
流動資産合計	96,402	87,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,245	16,047
土地	15,861	15,858
その他（純額）	2,951	3,488
有形固定資産合計	35,058	35,395
無形固定資産		
のれん	2,459	2,041
その他	6,485	6,416
無形固定資産合計	8,945	8,458
投資その他の資産		
投資有価証券	7,722	6,838
繰延税金資産	4,156	3,904
退職給付に係る資産	930	2,010
その他	2,880	2,723
貸倒引当金	△503	△504
投資その他の資産合計	15,186	14,970
固定資産合計	59,190	58,824
資産合計	155,593	146,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,651	12,872
短期借入金	6,991	2,701
1年内返済予定の長期借入金	4,000	4,000
未払金及び未払費用	11,009	8,125
未払法人税等	448	794
返品調整引当金	448	429
その他	1,762	1,940
流動負債合計	41,311	30,865
固定負債		
長期借入金	9,535	9,432
繰延税金負債	1,720	1,669
再評価に係る繰延税金負債	2,296	2,296
退職給付に係る負債	579	512
資産除去債務	237	237
その他	3,506	3,477
固定負債合計	17,875	17,625
負債合計	59,187	48,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,817	31,821
利益剰余金	37,979	39,895
自己株式	△2,424	△2,203
株主資本合計	93,508	95,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	2,058
繰延ヘッジ損益	197	304
土地再評価差額金	29	29
為替換算調整勘定	1,160	202
退職給付に係る調整累計額	△657	△396
その他の包括利益累計額合計	2,545	2,196
非支配株主持分	351	342
純資産合計	96,405	98,190
負債純資産合計	155,593	146,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	127,650	122,701
売上原価	74,403	71,787
売上総利益	53,246	50,914
販売費及び一般管理費	48,893	46,519
営業利益	4,353	4,395
営業外収益		
受取利息	73	79
受取配当金	161	175
受取保険金	3	152
その他	207	194
営業外収益合計	446	601
営業外費用		
支払利息	206	150
売上割引	169	167
為替差損	211	158
その他	75	66
営業外費用合計	663	542
経常利益	4,136	4,454
特別利益		
固定資産売却益	5	7
投資有価証券売却益	4	30
退職給付制度改定益	—	177
特別利益合計	10	216
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	25	112
投資有価証券評価損	—	4
事業構造改善費用	16	—
災害による損失	9	—
特別損失合計	51	116
税金等調整前四半期純利益	4,095	4,554
法人税等	1,152	1,287
四半期純利益	2,943	3,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,885	3,210

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,943	3,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△679	242
繰延ヘッジ損益	649	106
為替換算調整勘定	△191	△958
退職給付に係る調整額	253	260
その他の包括利益合計	32	△348
四半期包括利益	2,975	2,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,921	2,875
非支配株主に係る四半期包括利益	53	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。